

ねこやなぎとおり

【空き家活用コンセプト】

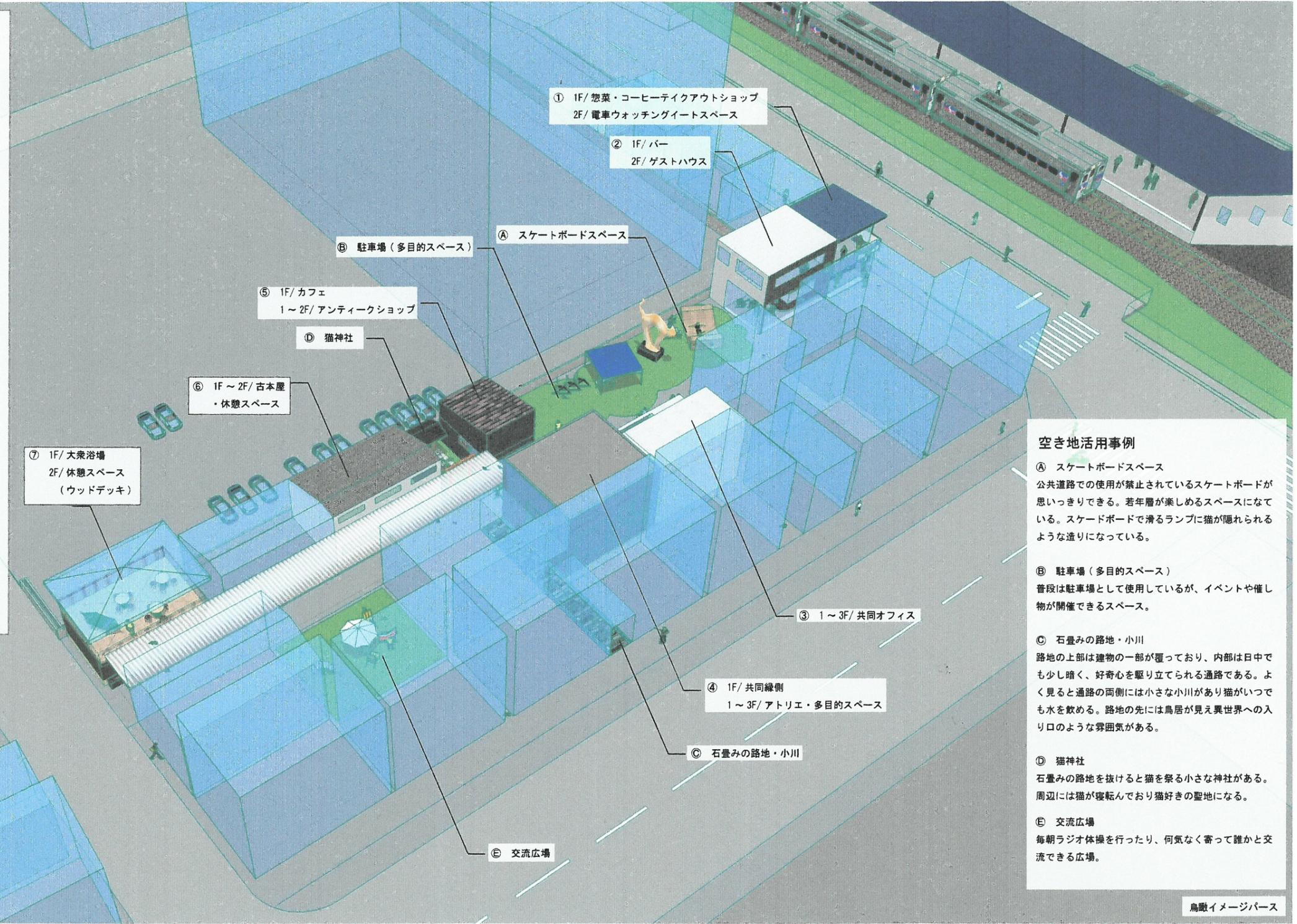
かつて長屋町商店街のあった柳町。1階は店舗、2階が住居の建物が連なっている。現在では1階部分はほとんどシャッターが閉まっているまたは、空き家になっている。長屋通りにはかつて商店街の通り会もあったが、現在は機能しておらず、住民の高齢化と建物の老朽化・相続人不在が増加している。

長屋として密集しており、“ねこのみち”になっている建物間の隙間も多いからなのか、この一帯には猫が多い。塀の上に寝そべるねこ、アーケードの屋根に乗り見下ろすねこ。駐車場であくびをしているねこ。この町に住む猫はアーケードで行き交う通行人を眺めながらのんびりすごしている。

その現状は地域の特性である。それを活かした空き家活用をすることで地域の新しい魅力づくりと再発見にもなる。現状から猫が居るといった特性に注目し、住民（高齢者）と行き交う人（若年層、親子連れ、旅行者など…）を猫で繋ぐ。

住民が、「猫好き」に特化した建物を通じて他者と交流し、会話が生まれる事で猫と空き家活用は住民の生きがいと地域の宝になる。

この空き家の用途は建物ごとに宿泊施設・飲食店・オフィス・古本屋さん・大衆浴場など住民の方々が、かつてのように連携し、当番制で管理運営する。建物間で断続的に人と猫が移動する流れができる。つまりこの地域では高齢者と猫と一緒に楽しく過ごせる地域である。



空き地活用事例

④ スケートボードスペース
公共道路での使用が禁止されているスケートボードが思いっきりできる。若年層が楽しめるスペースになっている。スケートボードで滑るランに猫が隠れられるような造りになっている。

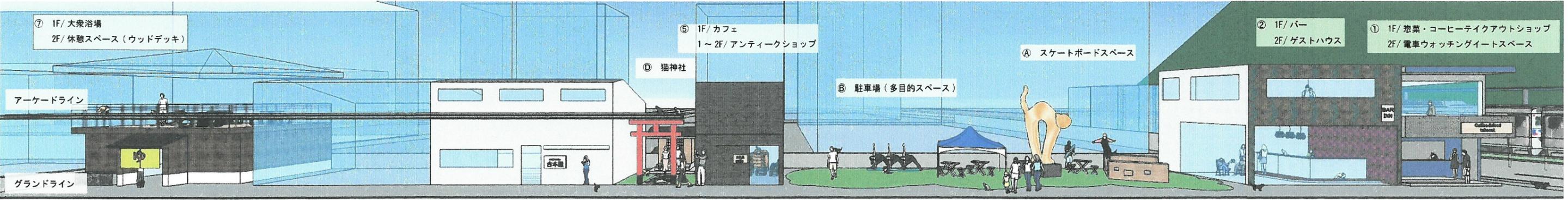
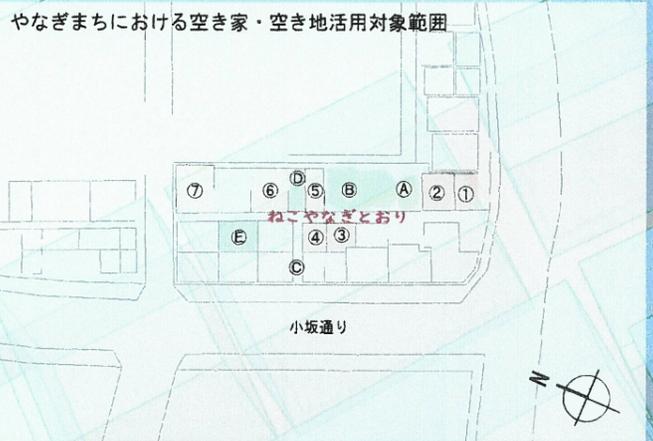
⑥ 駐車場(多目的スペース)
普段は駐車場として使用しているが、イベントや催し物が開催できるスペース。

⑦ 石畳みの路地・小川
路地の上部は建物の一部が覆っており、内部は日中でも少し暗く、好奇心を駆り立てられる通路である。よく見ると通路の両側には小さな小川があり猫がいつでも水を飲める。路地の先には鳥居が見え異世界への入り口のような雰囲気がある。

⑧ 猫神社
石畳みの路地を抜けると猫を祭る小さな神社がある。周辺には猫が寝転んでおり猫好きの聖地になる。

⑨ 交流広場
毎朝ラジオ体操を行ったり、何気なく寄って誰かと交流できる広場。

鳥獣イメージパース



ねこやなぎとおり断面イメージパース